



## 豪州政府はインフラ・住宅建設主導の景気回復を後押しへ

- 豪州では新型コロナの新規感染の抑制傾向が続き、コロナ問題の早期終息と本格的な経済活動再開が視野に入る。
- 豪州政府は今後の景気回復を後押しする政策に注力。6月以降、インフラ開発や住宅建設への支援策を打ち出す。
- 豪州政府は早期で着工可能なインフラ計画への資金拠出や、大型インフラ・プロジェクトを前倒しで承認する計画。
- 住宅建設活性化のため、新築住宅購入者に補助金を支給へ。住宅建設が年後半の豪州景気回復の追い風に。

## 豪州政府は景気回復を後押しする政策に注力

世界では新型コロナウイルスの感染第二波への懸念が浮上する中、豪州では安定した新規感染者数の抑制傾向が続き、コロナ問題の早期終息と7月からの本格的な経済活動再開が視野に入り始めています(次頁図3)。

こうした中、豪州政府のコロナ対応の景気対策の主眼は、労働者や中小企業への資金支援策から、今後の景気回復を後押しする政策にシフトしつつあります。

## 豪州政府はインフラ計画の早期着工を推進へ

実際、6月に入って以降、豪州政府は相次いでインフラ開発や住宅建設への支援策を打ち出してきました(図1)。

まず、インフラ開発の面では、豪州政府は6月1日にシドニー中心部と西シドニー空港(2026年開港予定)を結ぶ鉄道建設にNSW州政府と共同で35億豪ドルを拠出する計画を明らかにしました。さらに、豪州政府は6月15日にも、早期で着工可能なインフラ計画に15億豪ドルを追加拠出する計画を公表し、総額720億豪ドル規模の大型プロジェクト15件を前倒しで承認する方針を示しています。

## 豪州政府は住宅建設活性化のため補助金を支給

一方、住宅建設支援策の面では、豪州政府は6月4日に新築住宅購入者に対する補助金政策を公表しました。

新規の住宅建設または大規模リフォームに対して、連邦政府が25,000豪ドル(約188万円)の補助金を支給するものです。加えて、州政府による初回住宅購入者向け補助金を上乗せすると、州によっては最大55,000豪ドル(約413万円)の補助金受給が可能とされています(図2)。

補助金受給には「契約日から3ヵ月以内の着工開始」が条件とされており、2020年後半には住宅建設の活性化が豪州景気回復の追い風となりそうです。

## 図1: 豪州政府が公表したインフラ・住宅建設支援策

2020年6月1日	豪州政府が2026年開港予定の西シドニー空港行きの鉄道建設にNSW州政府と共同で35億豪ドル(約2,600億円)を拠出する計画を公表。年内に着工を前倒しする予定。
6月4日	豪州政府は新築住宅購入者への補助金政策を公表。補助金支給総額は6.8億豪ドル(約500億円)の計画。
6月15日	豪州政府は早期で着工可能なインフラ計画に15億豪ドル(約1,100億円)を追加拠出する計画を公表。さらに総額720億豪ドル(約5.4兆円)規模の大型プロジェクト15件を前倒しで承認する方針を示す。

(出所)豪州政府公表、各種報道 (注)為替換算は1豪ドル=75円。

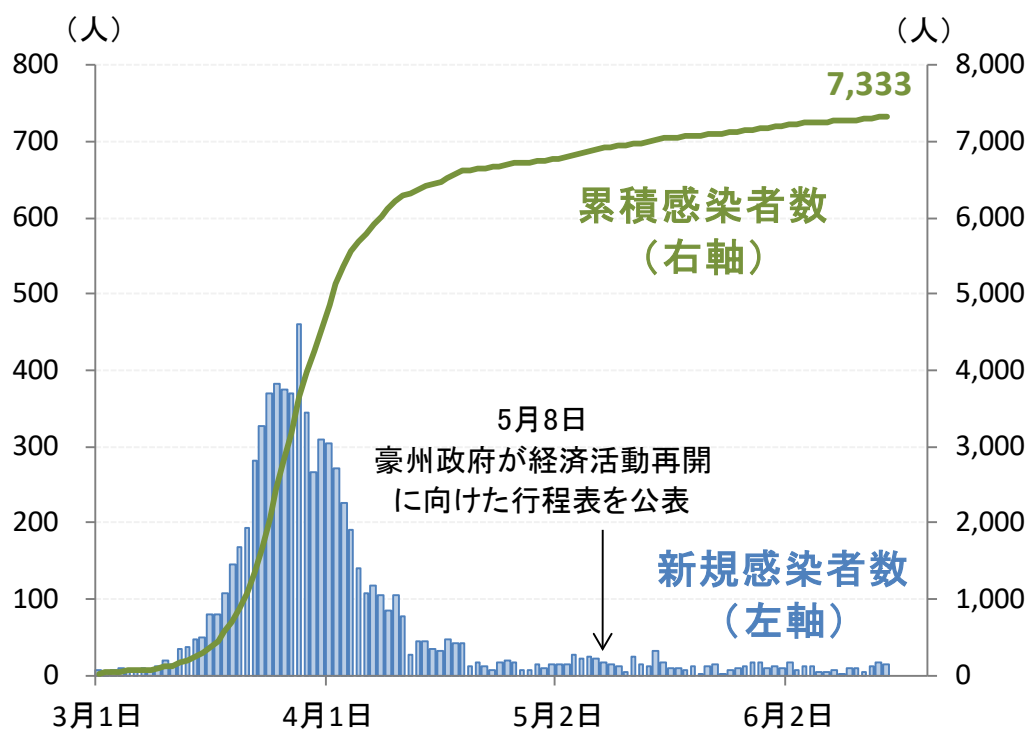
## 図2: 豪州の各州別の新築住宅購入補助金

	連邦政府補助金 (①)	州政府補助金 (②)	補助金合計 (①+②)	(参考)
				円換算値
NSW州	\$25,000	\$10,000	\$35,000	約263万円
ビクトリア州	\$25,000	都市部 \$10,000	都市部 \$35,000	約263万円
		郊外 \$20,000	郊外 \$45,000	約338万円
南オーストラリア州	\$25,000	\$15,000	\$40,000	約300万円
西オーストラリア州	\$25,000	\$30,000	\$55,000	約413万円
クイーンズランド州	\$25,000	\$15,000	\$40,000	約300万円
首都特別地域	\$25,000	\$0	\$25,000	約188万円
北部準州	\$25,000	\$30,000	\$55,000	約413万円
タスマニア州	\$25,000	\$20,000	\$45,000	約338万円

(出所)豪州政府・各州政府公表資料、各種報道  
(注) 補助金の対象は新築住宅の建設または大規模なリフォーム(2020年6月4日~12月31日に締結した契約)。州政府の補助金は初回住宅購入者向け。為替換算は1豪ドル=75円。2020年6月16日時点の情報に基づく。



図3: 豪州の新型コロナウイルスの感染動向



(出所) 豪公共放送ABC (期間) 2020年3月1日~6月15日